

「地方創生に関するアンケート調査の結果（速報）」のポイント

1 18歳以上調査

ページ	質問	概要
10	問 1	・島田市のことが「とても好き、まあまあ好き」は、72.4%
39	問 7	・中学生調査 「とても好き、まあまあ好き」は、75.6%
51	問 7	・高校生世代調査「とても好き、まあまあ好き」は、78.7%
12、13	問 5、 問 6	・島田市が住みやすいと感じる点と住みにくいと感じる点は、対照的 ・住みやすいと感じる点 ・自然環境が豊か、生まれ育った土地、安全安心な場所 ・住みにくいと感じる点 ・買い物をする店が少ない・遠い、交通の便が悪い、仕事がない
16	問 9、 9-1	・今後も島田に住み続ける予定の人は72.7% ・引越しを考えている人13%の理由は、「転勤・就職」、「生活環境がよくない」、「結婚」
17、18	問 10	・市内で働いている人は、回答者中の4割
	10-2	・市外で働いている人の勤務地は、静岡市や周辺の隣接市町が多い。
23	問 14	・通勤・通学の許容時間として1時間未満と考える人は、78.5%
24	問 15 15-1	・「いずれ結婚するつもり」の独身者は、全体では49.2%ですが、詳細に見ると、 18歳～34歳の独身者では75.8%が「いずれ結婚するつもり」と回答（参考） ・社人研 H22.6 出生動向基本調査 18～34歳独身者 結婚しようと考えている男性86.3%、女性89.4% ・静岡県 H26.8 少子化対策県民意識調査 18～34歳独身者 結婚しようと考えている男性81.6%、女性87.0%、全体84.5%
55	問 11	・高校生世代調査結果 ・「いずれ結婚するつもり」 66.1%
25	15-2	・独身者が結婚していない理由は、出逢いがない、収入・資金がない、自由が利くなど。

ページ	質問	概要
26	問 15-3	<ul style="list-style-type: none"> ・「結婚後、島田市に住み続けたい」と考える独身者は、37.7% 「住む場所にこだわらない」人は、49.2%。
39	問 8	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生調査結果 <ul style="list-style-type: none"> ・将来も島田市に住みたい、どちらかといえば住みたい 36.2% ・住むところにこだわりはない 39.2% ・住みたくない、どちらかといえば住みたくない 23.8%
51	問 8	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生世代調査結果 <ul style="list-style-type: none"> ・将来も島田市に住みたい、どちらかといえば住みたい 42.5% ・住むところにこだわりはない 38.6% ・住みたくない、どちらかといえば住みたくない 18.9%
26	問 16	<ul style="list-style-type: none"> ・島田市が重点的に取り組むべき結婚支援事業として、54.7%が「安定した雇用の支援」と回答。 ・次いで、若い夫婦への住まいへの支援、婚活イベントなどによる出会いの場の提供
27	問 17	<ul style="list-style-type: none"> ・夫婦や交際相手のいる方の出逢いのきっかけは、多いものから順に、「職場や仕事関係」、「友人・兄弟姉妹を通じて」、「見合い」、「学校」
29	問 20	<ul style="list-style-type: none"> ・理想の子どもの人数は、2.58人 <p>(参考)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社人研 H22.6 出生動向基本調査：夫婦調査 理想子ども数 2.42人 ・静岡県 H26.8 少子化対策県民意識調査 結婚している方 理想子ども数 2.43人
55	問 12	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生世代調査結果 <ul style="list-style-type: none"> ・将来、何人子どもを持つイメージですか？ 2.12人
30	問 22	<ul style="list-style-type: none"> ・理想の子ども数よりも子どもが少ない理由は、子育て・教育にお金がかかりすぎる、自分の仕事に差し支える、子どもを預ける施設が整っていないなど。
31	問 23	<ul style="list-style-type: none"> ・島田市が最も力を入れるべきと考える育児サービスは、幼稚園・保育所・認定こども園などの定員の拡充、金銭的サポートや現物給付、子どもを預かるサービスの時間の延長

2 中学生調査、3 高校生世代調査

ページ	質問	概要
43	問 11	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生調査結果 18歳になったら、どんな進路をとるか。 ・55.2%が進学 ・仕事をすると答えた34.1%のうち、その67.0%は会社等への就職、12.7%は新たに仕事を始める、4.9%が家業を継ぐ。 ・5.1%は、特に何かしたいと思わない。
56	問 13	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生世代調査結果 「18歳になったら、どんな進路をとるか。」 ・70.1%が進学 ・仕事をすると答えた22.8%のうち、その86.2%は会社等への就職、残りは無回答
44	問 11-1	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生調査結果 就職、進学希望地は、 ・どこでも、こだわらない 32.0% ・県内なら、市町にこだわらない 26.8% ・市内 15.4% ・東京都 9.8%
57	問 13-1	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生世代調査結果 就職、進学希望地は、 ・どこでも、こだわらない 31.4% ・県内なら、市町にこだわらない 22.9% ・市内 9.3% ・東京都 9.3%

4 転入者調査、5 転出者調査

ページ	質問	概要
64	問 6	<ul style="list-style-type: none"> ・転入者の転入元の場所は、 東京圏（東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県）13.2%、 藤枝市 13.5%、静岡市 11.1%の順
78	問 6	<ul style="list-style-type: none"> ・転出者の転出先の場所は、 東京圏（東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県）19.1%、 藤枝市 18.0%、静岡市 13.1%の順
67	問 10	<ul style="list-style-type: none"> ・転入のきっかけは、 多いものから、結婚 23.4%、転勤 13.8%
81	問 10	<ul style="list-style-type: none"> ・転出のきっかけは、 多いものから、結婚 26.1%、転勤 16.3%
87	問 17	<ul style="list-style-type: none"> ・転出者のうち、54.4%が、また島田市に住みたいと思っている。

6 事業所調査

ページ	質問	概要
93、94、96	問5 問7 問10	<ul style="list-style-type: none"> ・回答をいただいた事業所は、 ・業種では、「製造業」、「小売・飲食業」、「サービス業」、「建設業」がそれぞれ約2.5割～2割 ・操業年数では、20年以上の合計が76.5%、30年以上の合計が62.6%、50年以上の合計が29.6% ・従業員の規模では、1～4人が52.5%
97	問13	<ul style="list-style-type: none"> ・女性正社員の働き方で、出産後も継続して就業している人が30.9%
98	問14	<ul style="list-style-type: none"> ・「有給休暇取得率0%」と回答した事業所が27.5%
100	問16	<ul style="list-style-type: none"> ・労務管理上の課題は、多いものから、「従業員の高齢化」、「後継者の育成」、「新規採用・中途採用での優秀な人材の確保」
102	問18	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の事業規模の見込みでは、「現状維持」が52.5%
103	問19	<ul style="list-style-type: none"> ・「1年以内に正規雇用の募集を予定しない」が56.2%
	問20	<ul style="list-style-type: none"> ・「1年以内に非正規雇用の募集を予定しない」が58.6%
103	問21	<ul style="list-style-type: none"> ・「現在の場所で事業を続けたいと考える事業所」が82.1% ・「市外への移転を考えている事業所」が1.2%
105	問23	<ul style="list-style-type: none"> ・重要視する経営上の課題は、 ・2社に1社が、「営業・販売力の強化」、「人材の確保・育成」 ・3割が、「経費の節減」、「事業承継」、「技術力強化」 ・2割が、「財務体質の強化」、「コストダウン」、「自社ブランドの強化」、「新商品開発・新事業展開」と回答
110	問29	<ul style="list-style-type: none"> ・最も重要と考える産業振興に関する行政の取組は、多いものから「人材確保・人材育成への支援」、「新規立地企業・店舗の誘致」、「融資など経営基盤強化に関する支援」など
111	問30	<ul style="list-style-type: none"> ・島田市で就労機会の向上に向けて必要と考える行政サービスは、多いものから、「企業情報などの情報発信」、「起業支援」、「就労に関する相談窓口」、「就労のマッチング」

